

保護者の皆様へ

年間を通して学校教育活動の検証と改善を図り、より充実した教育活動に資するためには、学校評価支援システムを活用したアンケートを行い、PTA や学校評議員の皆様からも評価をいただきました。学校評価は、単なる批判や非難ではなく、それぞれの目標を達成するために教育活動の成果や課題をあらゆる視点や立場から検証し、課題があれば改善策を立ててステップアップするためのものです。健全な子どもの育ちのためにも、学校・家庭・地域の三者がそれぞれの立場で振り返りながら、よりよい学校づくりを目指していくことが最も大切なことだと思います。

このような趣旨をご理解の上、お目通し頂き、本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願ひします。

生徒対象の「学習アンケート」から

- ・生徒は全体として、忘れ物をしない・授業中はけじめをつける・宿題などの課題や朝読書に、しっかり取り組めているという意識を持っている。
- ・計画的に学習をしたり、家庭学習に自主的に取り組んだりすることが不十分で、学習に困っていることが多い一方で、教師や友達にたずねることができていない。

3年生の学習アンケートでみると

- ・「集中して授業をうける」・「課題の提出期限を守る」といった意識は高いが、「計画的に取り組んで学習すること」に課題がある。

2年生の学習アンケートでみると

- ・授業がむずかしくなっていると感じているが、それをたずねることができないことがわかる。

1年生の学習アンケートでみると

- ・授業に関して、集中や理解ができていない、進度が早いなど不安に感じている生徒が多くいる。

保護者アンケートから

全体を通して

学校へ楽しく通っており、授業や行事などバランスよく教育活動が行われていると評価されている。学年が上がるにつれ、学校の話はしないようになっている。家庭学習に取り組めていないという課題がある。

3年生保護者では

- ・学校教育目標が願いにかなっていると評価されている。基礎学力に課題があり、目標が生徒に十分に伝わっていないと感じている。

2年生保護者では

- ・生徒にとってわかりやすい授業になっているか、また、学習について相談しやすい環境になっているかについて、課題に感じている。

1年生保護者では

- ・基礎学力が十分についているか、また、学習についての相談ができているかという点について心配されている。

教職員アンケートより

- ・学校教育目標をもとに「あいさつのできる学校づくり」や家庭学習の習慣化に取り組み、学校の様子を伝える努力ができている一方で、基礎的な学力の定着や食教育・人権学習といった家庭の協力を必要とする学習の面で課題を感じている。



全体を通した本校の成果と課題

・学習活動に困りを抱えている生徒が多く見受けられ、その生徒たちを意識して、「どの生徒も考えられる工夫・集中できる工夫・守れるルール・わかりやすい工夫・興味を持てる工夫」といったユニバーサルデザインの授業をめざし、授業改善を図っていく必要がある。

・道徳の教科化が本決まりになり、ねらいを明確にした道徳の授業を展開していくために、より系統立てた道徳教育の全体計画を作成する必要がある。

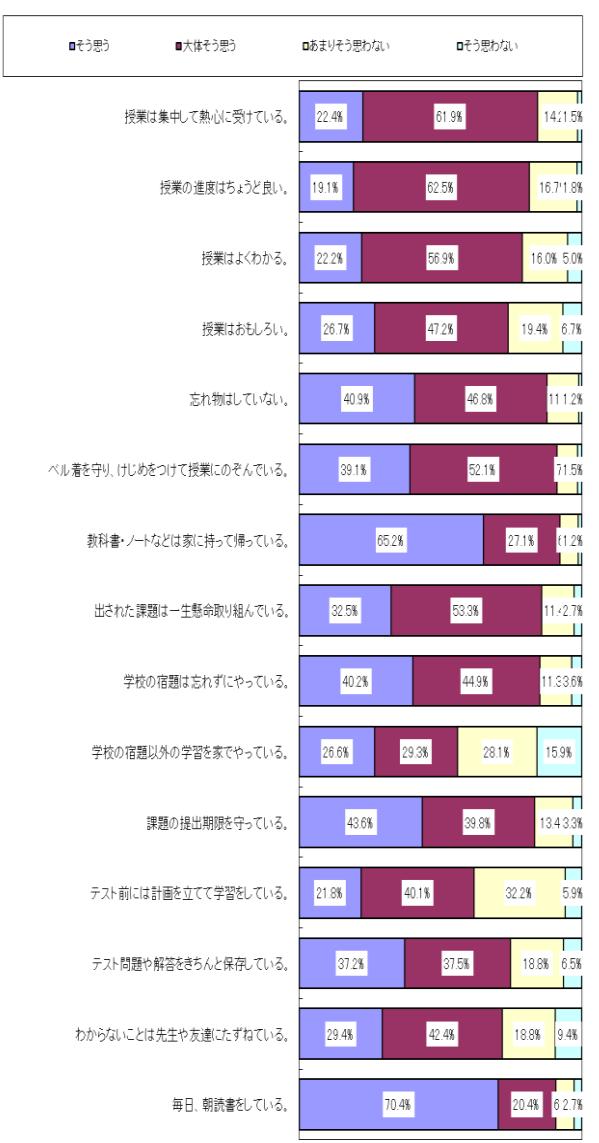
また、学校・地域での道徳的な実践事例や生徒と保護者がともに取り組める道徳的な話題や課題などについて発信していかなければならない。

・スマホ、ケータイを使っている時間が長く、それが睡眠時間を圧迫している現状があきらかになってきているので、保護者とも連携しながら使う時のルールを決めていくことが必要であると考える。

(夜10時以降は保護者に預けるなど)

・学校が落ち着き、活き活きと活動している生徒が多い。さらに規範意識の醸成をはかるとともに、今まで同様、行事に全力投球していく学校の雰囲気を大切にしていきたい。

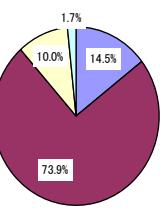
生徒アンケート



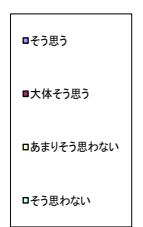
保護アンケート

3年生

学校教育目標は生徒や保護者の願いにかなっている。

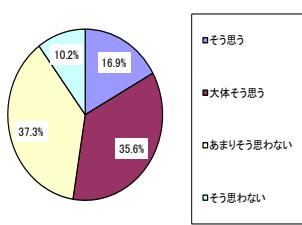


各授業の目標が生徒によく伝わっている。



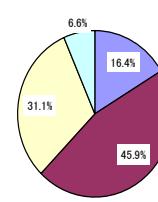
2年生

家庭学習に積極的に取り組んでいる。



1年生

基礎的な学力が身についてきている。

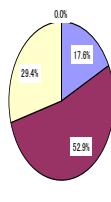


教職員アンケート

しっかりあいさつのできる学校づくりをしている。



朝ごはんをはじめ、食教育に取り組んでいる。



基礎的な学力を身につけられている。

